

春 告 草

第 145 号 令和元年 6 月 12 日 進路指導部発行

大学入学共通テスト

英語はリーディングに特化 リスニング 配点は倍に

大学入試センターは 7 日、2021 年 1 月から始まる「大学入学共通テスト」の問題作成の方針を公表した。科目ごとの配点や国語と数学の記述式問題が導入されることなどが明記され、共通テストの概要が固まった。現 5 年生の大学受験からの実施となる。

学習の課程を意識した問題の場面設定を重視

これまで問題作成の方針は示されておらず、大学入試センターは共通テスト実施に向けて初めて公表した。これによれば、日常生活での課題の解決や、資料を基にした考察などの場면을例示し、「学習の課程を意識した問題設定を重視する」問題を使って、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力を問いたいとしている。大学入試問題が高校における授業改革に与える影響を踏まえての入試改革であり、マーク式テストに加えて記述式テストが導入されるのも、満足なレポートも書けない大学生の現状を見据えての改革であることを以前伺ったことがある。

記述問題が導入される国語と数学に関しては、それぞれ小問が 3 問ずつ出題される。国語は小問 3 問で構成される大問 1 問が出題され、最も長い問題で 80～120 字程度の字数で、他の小問はこれよりも短い字数の出題となる。成績は段階的に評価され、従来どおりのマーク式問題の得点(200点)とは分けて、各大学に提供される。試験時間もこれまでに比べて 20 分延長され、100 分間となる。

一方数学は、数学 I、および数学 I・数学 A の数学 I の分野で出題される。マーク式問題と混在させた形で数式等を記述する小問 3 問が出題される。試験時間は 70 分、マーク式問題と合わせて 100 点の配点である。

英語リスニングの配点は 2 倍に

英語はその 4 技能評価が外部試験に求められるが、共通テストにおいては「リーディング」と「リスニング」の各能力が評価される。リーディングに関しては、センター試験の英語筆記で出題されていた、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は出題されなくなり、様々なテキストから概要や要点を把握する力や必要とする情報を読み取る力などが問われる。リスニングはテストの信頼性を向上させるため、1 回読みも含めるとしているが、当面は 1 回読みと 2 回読みの両方を含む問題構成となる。両科目とも試験時間に変更はないが、リーディング、リスニング共に配点はそれぞれ 100 点となり、筆記は半分、リスニングは 2 倍となり、これまでに比べるとリスニング対策の重要性が増したと言えよう。

地理歴史、公民、理科の各科目については、将来的に記述問題導入の可能性があると以前より言われているが、共通テスト初年度からの実施はない。しかしながら、知識・技能だけの評価に止まらず、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視するとなつているので、資料やデータに基づいて考察し判断する問題、データを整理する過程などにおいて数学的な手法を用いる問題などを含めて検討するとある。過去問演習のみに偏った対策は危険であるから、最新の対策本で学習する必要があるだろう。理科②(物理、化学、生物、地学)に関しては選択問題がなくなり、全問必須となる。

科目など	解答方法	試験時間	配点
国 語	マーク式 & 記述式	100 分	200 点 & 段階表示
地 歴・公民	マーク式	60 分、 130 分	100 点 200 点
数 学 ①	マーク式 & 記述式	70 分	100 点
数 学 ②	マーク式	60 分	100 点
理 科 ①	マーク式	60 分	100 点
理 科 ②	マーク式	60 分、 130 分	100 点 200 点
リーディング	マーク式	80 分	100 点
リスニング	マーク式	30 分 解答時間	100 点

春告草 143 号で「オープンキャンパス 体験授業の勧め」について記事を書きましたが、現在募集中の高大接続プログラムを紹介します。

電気通信大では、高校1年生、2年生を対象に高大接続教室「UECスクール」を開講している。電通大の施設を使って、実験と実習を取り入れた「理科学実験」と「プログラミング」を学ぶことができる。

「理科学実験」では物理と科学の実験を行い、物理や化学の法則を理解します。実験レポートの書き方についても学ぶことができますので、将来サイエンスを目指す上での基礎固めをすることができます。大学の先生や大学院生の講演もあり、最先端の研究を学ぶこともできます。

「プログラミング」では、マイコンを利用して身近な話題で問題解決をする演習を行います。この演習を通して、プログラミングをはじめとする情報技術を生活の中で利用することを学び、活用する力を身に付けることができます。

開講は、8月2回、10月1回、12月1回の4回で、両プログラムに応募することもできます。現在Webエントリーを受付中で応募書類の提出は7月1日～19日となっています。

東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の三大学が連携して、それぞれの大学の特徴を活かした専門分野の教育はもちろん、文系・理系の垣根を越えた「協働」を学ぶ実践型グローバル人材育成プログラムを行っています。対象は高校1年生、2年生で、現在、夏季受講生を募集しています。日程は7月26日と8月3日となっていて、Webエントリーの締め切りが6月19日、書類提出締め切りは6月20日となっています。

新テスト開始年度より、AO入試は総合型選抜と名称変更されるが、電通大もこの年度からこれまでの推薦入試（学校推薦型選抜と名称変更）に加え、総合型選抜を新規に実施する。高等学校などにおける継続的な探究活動が評価の対象となるが、上記のUECスクールをはじめ、各大学で行われている高大接続プログラムへの参加は、その為の良いきっかけになるだろう。実験レポート作成の支援やポスター発表の手ほどきを受けられるチャンスもあるかも知れない。6年生になってからでは、準備が間に合わないだろうから、一応念のために伝えておく。

毎年、夏休み終盤の恒例行事となる「東京大学主催 主要大学説明会」の要項が発表された。多くの大学が集まって行われる進学イベントは数多いが、これだけ多くの国公立大学が参加する説明会は貴重だ。個別相談の他、大学や入試の概要についての講演がある。最新のパンフレットも入手できる。

東京外国語大、東京海洋大、東京工業大、東京農工大、お茶の水女子大、
電気通信大、一橋大、横浜国立大、新潟大、金沢大、信州大、京都大、
大阪大、九州大、首都大学東京、横浜市立大、中央大、東京理科大、法政大、
明治大、立教大、早稲田大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大

[illegible]

第2回目は電通大の説明会をレポートします。「地名が付いていない唯一の国立大です」と毎度の挨拶で始まったが、都立科学技術大も首都大学東京システムデザイン学部が変わってしまった。昨年も書いたので覚えている人もいると思うが、電通大のルーツは1918年に創設された「無線電信講習所」である。設立のきっかけはタイタニック号の遭難で、海上船舶通信にモールス信号の重要性が認識され、無線通信士の育成が求められた背景があった。今は衛星を利用したデジタル通信が導入され、アナログ通信はその任を終えたが、正門脇には「無線通信士発祥教育之府」の記念碑がある。講習所創設より100年、情報や通信のみならず、物理科学、化学・生命、エレクトロニクス、フォトンクスなど、科学・技術の基盤を支える重要な分野から、ロボティクス、制御、光工学、さらにメディア、セキュリティ、人工知能、ビッグデータ解析など、社会の持続的発展を支える先端的科学・技術分野を担うに至っている。

1 学部・学科・キャンパス 3年前の学部再編で、学部から「学域」へ組織変更された。情報理工学域はⅠ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）の3つの類と、夜間が主の先端工学基礎課程から組織されるが、情報理工学を中核に各類に関連する学問を幅広く学び、各学問領

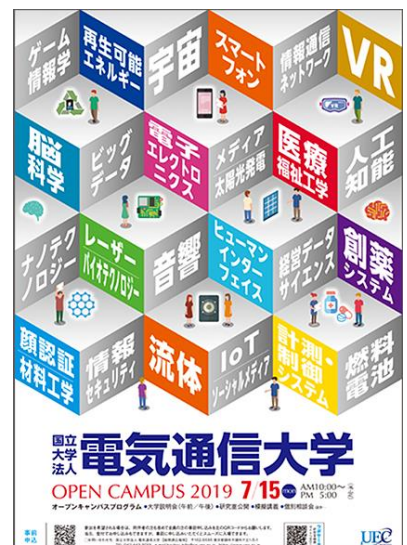
域を渡れる能力を育成するねらいがあるという。キャンパスは調布キャンパスの一か所のみ。京王線調布駅より徒歩5分のところにある。

2 教育 学士課程と博士課程前期課程（修士課程）の教育の一貫性の強化も、学域のねらいの一つ。教育プログラムでは、学士2年次後学期から博士前期課程修了までの間で専門分野を体系的に学べ、研究室では同じ教員の一貫した指導を受けることができる。

前期日程は「学域一括」募集のため、1年次の前学期終了時に、所属する類が決定される。後期日程は「類別」募集である。年次を重ねる過程で専門分野を絞り込み、3年次終了時には研究室が決定する。

「UECパスポートプログラム」はⅢ類電子工学、光工学、物理工学、化学生命工学の各プログラムの志願者が対象。自ら学ぶ高い意欲を持つ学生を支援する特別選抜プログラムで、一般入試合格者の中から1年次後学期に選抜し、1年次より最先端の科学・技術を学び、2年次以降は研究者や大学院生の指導を受けて自主研究を行う。「UECパスポートプログラム推薦入試」合格者と合わせて1学年20名程度という少数選抜の教育システムである。

「UECグローバルリーダー育成プログラム」は、1・2年次の学業成績により選抜される教育プログラム。通常よりも半年早く研究室に配属され、4年次秋まで

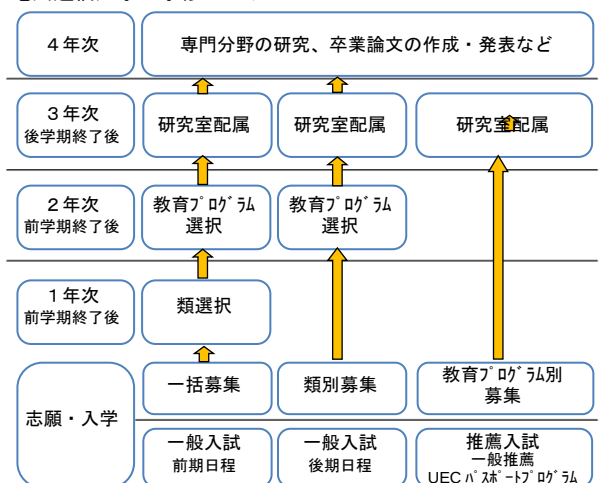


までもオープンキャンパスの受付が各大学で始まる。電通大は夏休みに入る前の海の日に開催。ポスターをでも分かるように電通大で行っている研究領域は広い。研究室公開も行っているの、実際に目で見てくると良いだろう。

情報理工学域の構成・定員

Ⅰ類（情報系） 210名	メディア情報プログラム 経営・社会情報プログラム 情報数理工学プログラム コンピュータサイエンスプログラム セキュリティ情報プログラム
Ⅱ類（融合系） 245名	情報通信工学プログラム 電子情報学プログラム 計測・制御システムプログラム 先端ロボティクスプログラム
Ⅲ類（理工系） 235名	機械システムプログラム 電子工学プログラム 光工学プログラム 物理工学プログラム 化学生命工学プログラム
先端工学基礎課程 （夜間主課程）30名	社会人コース

電気通信大学の学修システム



に卒業研究を完成させる。その後半年間、国内外の研究機関や海外の大学などで、学外研修を行う。

3 施設・設備 人工知能先端研究センターは国立大初の人工知能研究拠点。科学、デザイン、ビジネス、サービスなど各方面におけるAI技術の活用が研究、開発、実用化されている。身の回りでのAI技術が利用されている環境を「AI妖怪」と説明されていたが、大学図書館の一角に「Ambient Intelligence Agora (AIA)」が完成し、新しいアクティブラーニング空間で、グループでの研究や個人での勉学で活用することができる。

4 進学・就職 夜間課程を除く卒業生の進学率は70%以上で、東京大、東工大などの大学院へ進学する人もいる。学部卒業生の就職率は96.5%で、有名企業400社への実就職率は一橋大、東工大に次いで国立大3位の実績である。女子学生は全体の約15%だが、少ない女子学生へのキャリア支援は厚く、大学広報誌「UEC WOMAN」では、電通大OGが実際に現場でどのように働いているのかなどが対談形式で紹介されていて、男子学生にも参考になる編集になっている。(大学正門守衛所で入手できる他、HPからダウンロードも可。) 昨年のオープンキャンパスでも女子生徒とその保護者を対象にした相談ブースが設けられていて、女子学生数の増加を大学側でも意識している様子がうかがえた。理工系分野における女性研究者、技術者、経営者は少ない。人材が少ない分、チャンスは男子学生よりも多いのかも知れない。リケジョの皆さん、機械、電子、情報系に女性が進出できる余地はたくさん残っていると心得よ。

5 入試について 一般入試は前期日程、後期日程それぞれ実施。前期日程は一括募集で行い、類への配属は1年次後学期に決定し、教育プログラムは2年次後学期に選択する。後期日程は類別募集で出願時にⅠ類からⅢ類までの何れかを選択する。今年度の入試結果は表の通りである。推薦入試はさらに細かく教育プログラム別に選抜が行われる。Ⅲ類電子工学・光工学・物理工学・化学生命工学の4プログラムについては「UECパスポートプログラム推薦入試」も行われている。

入試科目は前期日程、後期日程とも、センターが5教科7科目、個別試験は数学、理科2科目、英語の3教科受験となる。配点割合(センター:個別)は、前期が(450:450)、後期が(300:600)である。理科は物理、化学の2科目指定で、配点は物理120点、化学80点で物理重視である。細かな配点は省略するが、前期・後期とも「優先合格者枠」があって、センター試験の成績に関係なく個別試験高得点者から、前期日程で370名中45名以内、後期日程で250名中30名以内を優先合格させる。また、前期日程の個別試験についてはA方式(数学重点)、B方式(理科重点)の何れかの方式を選択して出願する。

平成31年度入試における倍率、合格者平均点などの選抜状況は右表の通りである。優先合格するには個別試験で80%以上を得点したい。総得点による合格者は優先合格者を除いた後の選抜となるので、得点の開きは狭く、得点率70%~82%の間に合格者が収まる結果となっている(前期日程)。

■ 説明会当日は大学院のオープンキャンパスが行われていて、研究室が公開されていて、多くの女子学生、院生を見かけた。思ったよりも女子学生が多いという印象。男子は勿論、女子生徒も電通大を覗いてみては如何？

平成31年度入学者選抜状況

区分・類・プログラム		募集人員	志願者数	合格者数	受験倍率	
一般入試前期日程	学域一括募集	370	1691	388	4.2	
一般入試後期日程	I 類(情報系)	76	913	90	6.0	
	II 類(融合系)	89	775	104	4.5	
	III類(理工系)	85	749	111	4.1	
推薦入試	I 類	メディア情報学	6	40	14	2.9
		経営・社会情報学	5	2	1	2.0
		情報数理工学	5	8	1	8.0
		コンピュータサイエンス	5	15	5	3.0
	II 類	セキュリティ情報学	4	15	4	3.8
		情報通信工学	6	9	4	2.3
		電子情報学	5	14	7	2.0
		計測・制御システム	5	13	5	2.6
	III類	先端ロボティクス	5	18	5	3.6
		機械システム	5	9	6	1.5
		電子工学	4	4	2	2.0
		光工学	4	6	3	2.0
		物理工学	4	6	4	1.5
		化学生命工学	4	10	6	1.7
UEC推薦	III類	電子工学	3	3	2	1.8
		光工学		2	0	
		物理工学		0	0	
		化学生命工学		2	2	

個別学力検査高得点による優先的合格者の成績

学域(日程)	類	総得点	最高点	最低点	平均点
情報理工(前期日程)	45名以内	450	400.50	351.50	365.35
情報理工(後期日程)	30名以内	600	497.00	441.00	456.93

総得点による合格者の成績

学域(日程)	類	総得点	最高点	最低点	平均点
情報理工(前期日程)	(大括り入試)	900	741.35	634.25	661.69
情報理工(後期日程)	Ⅰ類(情報系)	900	686.15	610.90	640.42
	Ⅱ類(融合系)	900	693.90	591.05	620.86
	Ⅲ類(理工系)	900	697.45	585.25	618.34



オープンキャンパス
受付



研究室検索サイト
ラボサーチ